

活動報告書

2023年11月 市川素

すっかり季節は秋を過ぎて冬になりました。養蚕オフシーズンの活動をご紹介します。

今月の主な活動

養蚕がオフシーズンになる11月、今年はこちらにやぐ農家さんの所で、こんにやくの収穫作業を体験させて頂きました。お世話になったこんにやく農家さんは大型のトラクターを3台有し、7-8名の従業員を抱える大規模農家さんで、機械と人の手を使って効率的にガンガンと収穫作業を進めておられました。何町歩もあるような大きな畑を何個も持っていて、これまで体験したことのない大規模な農業経営を学ばせて頂きました。冷たい風が吹く中で、重たいこんにやく芋を扱う作業は大変でしたが、とても勉強になりました。また甘楽富岡地域では昔養蚕をやっている、その後こんにやく農家に転身された方が大勢います。こちらの農家さんも同じく昔は大規模に養蚕をされていたようで、養蚕の昔話を聞ける貴重な時間ともなりました。



11月14日には碓氷製糸で、繭の出荷作業のお手伝いをしてきました。年末に向けて大規模な注文が入ったらしく、繭を保管庫から出して袋詰めを行う作業を行いました。繭の

出荷の様子を目の当たりにして、嬉しい気持ちで作業ができました。今後もどんどん繭の需要が増えればと願いました。



さて、12月には下仁田ねぎの出荷が始まります。初めて自分で作った野菜を出荷することになるのでうれしさ半分、不安半分でドキドキです。



○ご紹介

Facebookの富岡市地域おこし協力隊のページでも養蚕日誌として日々の活動を投稿していますので是非ご覧ください。

(<https://www.facebook.com/tomiokashi.chiikiokoshi>)

(*本記事の記載内容は全て私見によるものであり富岡市の公式見解ではありません)